

式 辞

「今の社会は過去の誰かがこうなつて欲しいと夢に描いて行動したことが実現してできます。これから先の未来はみなさんがこうなつて欲しいと夢に描いて行動した結果が未来になります。一人ひとりの夢が広がり、未来の社会をつくる。それくらい夢の力は大きいのです。」

この言葉はみなさんのが10月に取り組んだドリームマップの先生からの言葉です。

証書授与での決意表明述べた将来の姿や夢。それらがきっと実現し、未来の社会が今よりももっともっと素晴らしいものになる。みなさんのしつかりとした姿を見て、そう確信しました。6年生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。

保護者のみなさま、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。大きく成長されたお子様の姿をご覧になつて、感慨深い気持ちになられていること思います。

今年度は過去にない経験のため、学校教育を進めるうえで慎重に判断せざるを得ない状況が続いた1年間でした。そのために、臨時休業や学校行事の中止・変更などがあつたにも関わらず、様々な場面でご理解とご協力をいただきましたこと、高い席からではございますが、この場をお借りして厚くお礼申しあげます。

さて、卒業生のみなさん。みなさんにとつて、6年生の1年間では、楽しみにしていた行事の多くができなくなつてしまい、本当に辛い思いをさせてしまったと思います。でも、そのような中でも、前向きに学んでいる皆さんの姿に校長先生はずいぶん力をもらいました。

8月の入学を祝う会。1年生に向けて、みなさんの代表児童がこんなメッセージを送つてくれました。「どんな行事がなくなつても、この学校には楽しいことがいっぱいあります。なので、勉強も遊びもがんばってください」

1年生に向けたメッセージでしたが、西三国小学校のみんなにとつて、そして当時の世界中の人々にとつても気持ちを元気にしてくれる素晴らしいメッセージでした。

できないことではなく、できることに焦点を当てて、気持ちを落とすことなく前向きに取り組んでいこう、歩んでいこうと投げかけてくれていたものだと思いました。

その後、みなさんにとつても学校にとつても大きな行事である運動会、そして修学旅行が、さきほどのメッセージに応えるように実施でき、みなさんの頑張る姿や楽しそうにしている笑顔をたくさん見ることができたことは、今でも印象に残っています。

これまで、校長先生は様々な機会を通じてみなさんに夢についてお話をしてくれました。お話を最後として、日本のプロ野球、そして、アメリカのメジャーリーグで長年に渡り活躍し、数々の記録を打ち立てたイチローさんの言葉についてお話をします。イチローさんは、夢について次のような言葉を語りかけています。

「夢をつかむことというのは一氣にはできません。ちいさなことを積み重ねることで、いつの日か信じられないような力を出せるようになります。」

力はすぐにつくものではない。夢はすぐにかなうものではない。だからこそ、日々ちいさな努力を積み重ねること。ものごとを継続することこそが、夢を実現する確かな方法だと示してくれています。

これからのみなさんが、毎日の努力を積み重ね、それぞれの夢を実現できるように過ごしてほしいと思います。そして、努力を続けるみなさんをいつまでも応援し続けたいと思います。

そしていつか、みなさんが夢に描いて行動してできあがつた未来の社会で、校長先生も自分の力を発揮できる社会の一員になりたいなあ、という夢がわいてきました。

そんなふうになればとても素敵だなあと思います。期待しています。みなさん、頑張ってください。

そんな素敵な未来が来ることを願い、式辞とします。

令和3年3月19日

大阪市立西三国小学校 校長 福井 淳也